

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】 第 1 部門第 2 区分
【発行日】 令和 5 年 6 月 14 日 (2023.6.14)

【公開番号】 特開 2022-13341 (P2022-13341A)
【公開日】 令和 4 年 1 月 18 日 (2022.1.18)
【年通号数】 公開公報 (特許) 2022-008
【出願番号】 特願 2020-115836 (P2020-115836)
【国際特許分類】
A 6 1 B 3/10 (2006.01)
【FI】
A 6 1 B 3/10 100

10

【手続補正書】
【提出日】 令和 5 年 6 月 5 日 (2023.6.5)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】 特許請求の範囲
【補正対象項目名】 全文
【補正方法】 変更
【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】
【請求項 1】

光干渉断層計にて測定光を被検眼上で走査することにより撮影された OCT データを解析するための眼科情報解析装置であって、

前記被検眼上で、前記測定光を横断方向へ第 1 走査範囲で走査することにより得られた、前記被検眼の解析領域を含む第 1 OCT データにおいて、前記解析領域が解析処理された第 1 解析データを取得する第 1 取得手段と、

前記被検眼上で、前記測定光を横断方向へ前記第 1 走査範囲とは異なる第 2 走査範囲で走査することにより得られた、少なくとも前記解析領域を含む第 2 OCT データであって、前記第 1 OCT データとは異なる日に撮影された第 2 OCT データを取得する第 2 取得手段と、

30

前記第 1 走査範囲と前記第 2 走査範囲との違いにかかわらず、前記第 2 OCT データから前記第 1 解析データに対応する前記解析領域を特定し、前記第 2 OCT データにおける前記解析領域を解析処理した第 2 解析データを取得する解析手段と、

前記第 1 解析データと前記第 2 解析データとを表示手段へ比較可能に表示する表示制御手段と、

を備えることを特徴とする眼科情報解析装置。

【請求項 2】

請求項 1 の眼科情報解析装置において、

前記第 1 OCT データは、前記第 1 走査範囲が互いに異なる、前記解析領域として第 1 解析領域を含むデータと、前記解析領域としての該第 1 解析領域とは異なる第 2 解析領域を含むデータと、の複数のデータであって、

40

前記第 1 取得手段は、前記第 1 解析領域および前記第 2 解析領域がそれぞれに解析処理された前記第 1 解析データを取得し、

前記第 2 取得手段は、前記解析領域として、前記第 1 解析領域と前記第 2 解析領域とをいずれも含む前記第 2 OCT データを取得し、

前記解析手段は、前記第 2 OCT データから、前記第 1 解析データに対応する前記第 1 解析領域と前記第 2 解析領域との少なくともいずれかを特定し、前記第 2 OCT データにおける前記第 1 解析領域と前記第 2 解析領域との少なくともいずれかを解析処理した前記第 2 解析データを取得することを特徴とする眼科情報解析装置。

50

【請求項 3】

請求項 1 または 2 の眼科情報解析装置において、

前記被検眼上で、前記測定光を前記第 2 走査範囲で走査することにより得られた、前記解析領域を含む第 3 OCT データであって、前記第 1 OCT データおよび前記第 2 OCT データとは異なる日に撮影された第 3 OCT データを取得する第 3 取得手段を備え、

前記解析手段は、前記第 3 OCT データから前記第 1 解析データまたは前記第 2 解析データに対応する前記解析領域を特定し、前記第 3 OCT データにおける前記解析領域を解析処理した第 3 解析データを取得し、

前記表示制御手段は、前記第 1 解析データおよび前記第 2 解析データの少なくともいずれかと、前記第 3 解析データと、を前記表示手段へ比較可能に表示することを特徴とする眼科情報解析装置。

10

【請求項 4】

光干渉断層計にて測定光を被検眼上で走査することにより撮影された OCT データを解析するための眼科情報解析装置において実行される眼科情報解析プログラムであって、

前記眼科情報解析装置のプロセッサによって実行されることで、

前記被検眼上で、前記測定光を横断方向へ第 1 走査範囲で走査することにより得られた、前記被検眼の解析領域を含む第 1 OCT データにおいて、前記解析領域が解析処理された第 1 解析データを取得する第 1 取得ステップと、

前記被検眼上で、前記測定光を横断方向へ前記第 1 走査範囲とは異なる第 2 走査範囲で走査することにより得られた、少なくとも前記解析領域を含む第 2 OCT データであって、前記第 1 OCT データとは異なる日に撮影された第 2 OCT データを取得する第 2 取得ステップと、

20

前記第 1 走査範囲と前記第 2 走査範囲との違いにかかわらず、前記第 2 OCT データから前記第 1 解析データに対応する前記解析領域を特定し、前記第 2 OCT データにおける前記解析領域を解析処理した第 2 解析データを取得する解析ステップと、

前記第 1 解析データと前記第 2 解析データとを表示手段へ比較可能に表示する表示制御ステップと、

を前記眼科情報解析装置に実行させることを特徴とする眼科情報解析プログラム。

【請求項 5】

光干渉断層計にて測定光を被検眼上で走査することにより撮影された OCT データを解析するための眼科情報解析装置であって、

30

前記被検眼上で、前記測定光を横断方向へ第 1 走査範囲で走査することにより得られた、前記被検眼の解析領域を含む第 1 OCT データを取得する第 1 取得手段と、

前記被検眼上で、前記測定光を横断方向へ前記第 1 走査範囲とは異なる第 2 走査範囲で走査することにより得られた、少なくとも前記解析領域を含む第 2 OCT データであって、前記第 1 OCT データとは異なる日に撮影された第 2 OCT データを取得する第 2 取得手段と、

前記第 1 走査範囲と前記第 2 走査範囲との違いにかかわらず、前記第 1 OCT データおよび前記第 2 OCT データに共通する前記解析領域を特定する解析手段と、

前記第 1 OCT データおよび前記第 2 OCT データに共通する前記解析領域を表示手段へ比較可能に表示する表示制御手段と、

40

を備えることを特徴とする眼科情報解析装置。